

# 衆議院法務委員会ニュース

平成 29. 3. 22 第 193 回国会第 5 号

3 月 22 日（水）、第 5 回の委員会が開かれました。

## 1 裁判所職員定員法の一部を改正する法律案（内閣提出第 4 号）

### 裁判所法の一部を改正する法律案（内閣提出第 5 号）

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・金田法務大臣、盛山法務副大臣、井野法務大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

#### 階 猛君（民進）

- ・修習給付金の支給により法曹志望者の増加が達成できるのか疑問であるが、裁判所法改正案の法曹志望者の増加に対する効果について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・法曹志望者を増やすためには、まず法科大学院への進学が負担となっていることを踏まえる必要があると思うが、修習給付金制度の創設以外に法曹志望者増加のための方策を検討したのか、伺いたい。
- ・司法試験予備試験合格者の方が法科大学院修了者より司法試験合格率がかなり高いことも踏まえ、司法試験受験資格を見直すべきであると思うが、法務大臣の見解を伺いたい。

#### 井出庸生君（民進）

- ・昨日閣議決定された組織的犯罪処罰法等改正案で新設される「テロ等準備罪」は、組織的犯罪の計画と準備を一体として処罰するものであるため、「組織犯罪計画準備罪」の名称がふさわしいと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・令状の適正な発付を図るため、令状事件の処理に当たって他の裁判官と相談ができるように裁判官を増員する必要があると考えるが、最高裁判所当局の見解を伺いたい。
- ・司法修習生の経済状況に関する調査を行い、その結果を踏まえて修習給付金の額を決定していくべきと考えるが、最高裁判所当局の見解を伺いたい。

#### 逢坂誠二君（民進）

- ・司法修習生に対する修習給付金の支給が法曹人口の確保に有効であるかを今後、検証すべきであると考えているが、最高裁判所当局の見解を伺いたい。また、貸与制の下で司法修習を行った者に対して、何らかの配慮を検討すべきと考えるが、最高裁判所当局の見解を伺いたい。

#### 藤野保史君（共産）

- ・司法修習に関して、戦前は、判検事と弁護士は別々に修習を受けていたものを、戦後、統一的に修習を受けるというものに変えた理由を伺いたい。
- ・従来の給費制とは異なるものの、今回の裁判所法改正案による修習給付金制度に対し一定の評価がされていることについて、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・今回の裁判所法改正案による司法修習生に対する懲戒に関する規定の整備が、司法修習生がその識見を高めるために行う諸活動を委縮させる効果を持つものではないことを確認したい。

#### 松浪健太君（維新）

- ・弁護士の所得額調査の中央値及び法科大学院を修了した弁護士の収入状況を伺いたい。
- ・大手弁護士事務所においては、優秀な人材を確保するため、予備試験合格者に対し就職説明会をしているという実態について、法務大臣政務官の認識を伺いたい。
- ・法曹資格の価値を高めることが法曹人材確保の充実・強化につながると考えているが、法務大臣の見解を伺いたい。